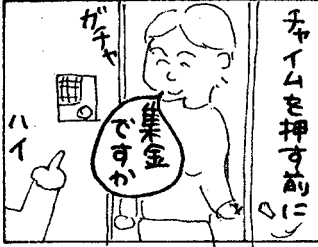
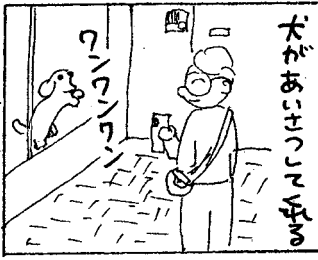
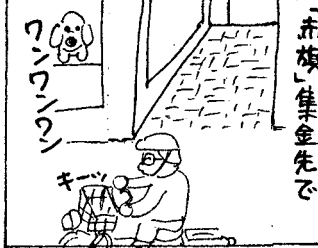


日本共産党
ひめだ高宏ニユエ
 No.44
 '09.2.4

「朝ズバツ」指摘 後期高齢者医療の欠陥

誕生日を病院で迎えたら、医療費が2倍になってしまった！後期高齢者医療制度の欠陥のひとつが、昨年のもんださんの「朝ズバツ」(TBS・4チャンネル)でとりあげられました。その番組に和歌山生協病院の古田院長が登場し、そんな例が紹介されました。和歌山市有本にお住まいのお年寄りが、生協病院で75才の誕生日を迎えました。その月の医療費は誕生日ま

フリーの人々 (587)



昨年4月にさかのぼり返還

昨年4月から12月までの分はどうなるのか。これについて、取り過ぎた分は返還する方向で、「昨年4月と12月に75才になった人で、後期高齢者医療制度で受診した人」を選び出し、返還すべき人には、今年9月を目途に返す方向で準備を進めているとのこと。国民の怒りが強い後期

「自己負担2倍」が改善された

「医療費が2倍に増える」問題点は、世論の批判を受けて国は昨年12月に「通知」を出し、この1月から問題を解消することになり防ぐというものです。また、誕生日を迎えた月の自己負担額をその月の保険の2分の1に減額すること、2倍に増えるのを

高齢者医療制度を何とか存続させようと、ほころびに手を打っていることの1つですが、2倍の医療費を納めた方は、きちんと戻ってくるか確認しましょう。

こんにちは
 議員の
ふじい健太郎 です。
 (その233)

県の行革特別委員会では北海道夕張市を訪ねました。映画「しあわせの黄色いハンカチ」とメロンで有名ですが、現在は市の財政が破たんし、国の「財政再建団体」指定を受けて24(=H36)年度を目標に350億円の赤字解消に向けて取り組んでいる町でもあります。炭鉱で栄えた当時は11万人の人口が、現在は1万3千人と激減、市は人口流出と雇用を維持するために観光施設の建設、

市民は税金や保育料などの負担が引き上げられる一方で、病院を診療所に縮小など市民サービスの低下にあえいでいます。道庁や議会の役割について、学ぶべき問題がたくさんありました。



ふじい健太郎 議員
 北海道議会

後期高齢者医療審査会 制度の廃止求めて口答陳述

2月3日(火)午後、県民文化会館会議室で、後期高齢者医療制度の廃止撤回を求める口答陳述が開かれ意見を述べました。

1月に後期高齢者医療制度の広域連合に私を含め県下で10人が制度の廃止を求めて異議申し立て書を提出。広域連合は各人に反論書を送ってきました。これに対し市社会保険推進協議会は

意見陳述の場を要求し、後期高齢者医療審査会が申立人から直接意見を聞くとして開いたものです。

私は後期高齢者が病気になること複数の検査が必要になることを述べ、6千円という検査の上限を定めることは、年齢による医療の差別であると指摘し、制度の廃止撤回を求めました。

(和歌浦・関口義英)

日本共産党 地球温暖化対策の深刻な遅れを克服し、一人一人にやさしく環境を大事にする社会をめざす

日本の地球温暖化対策の遅れの原因は、アメリカ追随と財界いかりの自公政権の消極的な取り組み姿勢にあります。日本共産党は昨年3月に欧州調査団を派遣し、6月には温暖化の抑制に関する見解を発表しました。

(一)ただちに温室効果ガス削減の中期目標を示し、取り組み姿勢を明らかにする

(二)最大の排出源である産業界の削減のため、公的削減協定など実績のある施策を実施する

(三)原発優先から自然エネルギーに重視を転換し、目標を拡大し促進の制度を整備する

(四)国の将来戦略に温暖化対策を位置づけ、政府の取り組みを義務付ける「気候保護法」(仮称)を制定する

こどもたちは 日本共産党

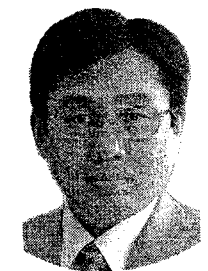


県農民農業団体連合会(県農民連)の総会で、あいさつしました。安心・安全な食料を生産したいという意欲のある人たちが担っていきけるように、

力を合わせましょうと訴えました。

日ごろ、農家のみなさんとお話すると、これからのコメづくりなど農業はどうなっていくのか、高齢の人たちが作れなくなつたあと担う人があるのか。そんな心配の声ばかりです。

10年の稲作農家の家族労働報酬は「時給」換算で全国平均はわずか179円に過ぎないのですから、これでは生活できません。価格保障などをつうじて、生活が成り立つ農業に改革することが求められています。



くにしげ秀明 (衆院区・比例)

名草後援会 新年会 おいしい料理と楽しいお酒

1月23日(金)夜、名草後援会の新年会が開かれ、私、ひめたも参加させていただきました。今年はいよいよ恒例のおでん、バラ寿司、会員さん手作りのおいしい料理に満腹になりました。また参加者全員に会員さん手作りの布製エコバッグがプレゼントさされ、大満足でお開きになりました。

塩屋音頭と塩屋婦人会の歌

1月24日(土)雑賀崎の太公望で塩屋自治会と婦人会の役員の新年会が開かれました。その昔、塩屋でお

住まいの方が塩屋音頭と塩屋婦人会の歌を作ったと、婦人会のみなさんがその歌を披露してくれました。